

平成 20 年 5 月 15 日

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田 温巳 様

白馬村長 太田 紘熙 印

ごみ処理施設についての公開質問状(観光客アンケート)への回答

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。回答にあたり次を前文とします。

基本的に貴会の実施したアンケートは、サンプル数の少なさはともかくとして、限られた情報を対象とした観光客に示しただけで行われており、一部の曖昧な表現(白馬の真ん中)、否定的誘導表現(まだ 10 数年使える、排ガスは大幅に多くなり、白馬のイメージを損なうなど)によって、回答が誘導されていると言わざるを得ない部分が、残念ながら見受けられます。

逆に必要に考えている側の事情(3 市村の配置、現状施設の場所や状況、村の財政状況など)を伝える説明は一切ありません。

このように客観的説明なしに行われたアンケートには、お答えしかねるところがございますが、次のとおり回答します。

1 の問 設問 3 において、白馬の魅力として観光客の 82%が「自然景観」を挙げており、その次に「澄んだ空気」を挙げています。この観光客の気持ちをご理解いただけますか。

答え 白馬の魅力は自然景観であり、理解できます。

2 の問 設問 5 において、ごみ焼却施設の建設に観光客の 80%の方が否定的です。「止むを得ない」を含めても肯定的な意見は 10%です。この事実を受け入れていただけますか。

答え 前文のとおりです。また、回答選択肢③「なるべく建設すべきでない」は、「無くて済ませられるなら、それに越したことがない。」と取れるいたって当たり前な意見であり、回答選択肢②「止むを得ない」に近いものであると判断され、したがって、ご質問のような数字(%)は引き出せません。

3 の問 設問 7 において、ごみ焼却施設の建設によって、65%(無回答を除くと 73%)の方が白馬の魅力が損なわれるとし、損なわれたいとする観光客はわずか 6%です。そして損なわれるのは「自然環境」「澄んだ空気」そして「村の雰囲気」としています。これが観光客の意見です。これをどのように受け止められますか。

答え 同じく前文のとおりです。観光客自らの排出も含め、人間生活によって当然排出されるゴミを、自治体はその域内で処理しなければならないことを前提とせず、単に印象だけを聞いたものであり、そのままを受け止めることは出来ません。

4 の問 このアンケート結果から分かりますように、観光客はごみ処理施設の建設に反対であり、観光客から見て白馬の魅力やイメージが損なわれるわけですから、ごみ処理施設の建設は観光客の減少をもたらすことは明らかです。それでも村長は、観光客への影響はないとお考えですか。影響はないとするならその客観的な根拠をお示してください。

答え 観光客数への影響は、このアンケートから推し測ることは出来ません。